

ようてい

1

2022 January
No.296



美しい羊蹄山（俱知安町）

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

いつも当JAの広報誌「ようてい」をご愛読いただき、ありがとうございます。今後も皆様に親しまれる広報誌を目指し、地域の情報をお伝えして参ります。本年の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

広報誌編集委員一同



特集 新年の挨拶

新春を迎えて



ようてい農業協同組合
代表理事組合長

八田 米造



令和4年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

組合員の皆様には、ご家族お揃いで清々しい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、JA事業につきまして、組合員や関係機関の皆様には格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は一昨年に続き、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化したことから、皆様におかれましても何かと我慢を強いられる1年ではなかつたかと存じます。

昨年の作況を振り返りますと、例年に比べ積雪量が多くつたものの融雪は順調に進んだことから、春から順調な播き付けで営農をスタート致しましたが、7月の記録的な高温・干ばつにより、作物の生育に大きな影響を与え、出来秋が心配されておりました。また、9月には大雨が発生する等、組合員の皆様におかれましては、大変ご苦労された年だったと思います。

このような気象経過により、水稻や麦では良好な品質・収量となりましたが、馬鈴薯は例年にはない程の小玉傾向となり、青果物においても経済活動の自粛により安価での推移が続き、販売環境が厳しい1年となりました。このような状況下にも関わらず、販売取扱高が計画を上回る結果となりましたことは、ひとえに組合員の皆様のご努力、そしてJAへのご協力・結束の賜物であり、改めて心より感謝申し上げます。

農業情勢に目を向けてみると、昨年6月に規制改革推進会議による規制改革実施計画が閣議決定され、農協改革に一定の結論が得られました。農協改革の着実な実践に向けて、組合員との対話を通じて、①自己改革の実施方針、②中長期の収支シミュレーション、③准組合員の意思反映及び事業利用方針を総会で決定する等により自己改革実践サイクルを構築することが求められています。従前よりJAグループ北海道として取り組んできた内容ではありますが、今後も自己改革に向けて継続的に取り組み、地域のライフルラインとして地域経済の発展に努めて参ります。

加えて、一昨年より新型コロナウイルスによる各農畜産物の需要減少等の影響が続いていることから、組合員の皆様が安定した営農を実践できるよう、JAグループが一丸となつて、需要喚起・消費拡大策等について国等へ要請を行つて参ります。

また、昨年は第30回JA北海道大会が開催され、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」をテーマに掲げ、JA運営の好循環に向けた対話の充実と、人・環境づくりに取り組む決議がなされました。当JAにおいてもこの決議事項に則し、ようつい管内の農業が将来に向かつて安心して営農が継続できるよう、組合員と役職員が一丸となつて取り組んで参りたい所存であります。

さて、令和4年は第5次農業振興計画・中期経営計画の最終年となり、令和5年からの第6次農業振興計画・中期経営計画の策定の年でもあります。昨年、組合員の皆様にご協力いただいたアンケートの結果を踏まえ、本年1年間で検討・協議し、来年の総代会に付議して参ります。本年につきましても、農業所得増大に向け、各部門と連携を図り、組合員の皆様の所得確保に努めて参ります。

最後になりますが、本年が皆様にとって明るい年であり、豊穣の出来秋を迎えることができよう、ご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

謹賀新年

代表理事組合長
八田 米造

大島秀章
〔常務理事〕

金子辰四郎

小西康久
〔常務理事〕

今井宏
〔常務理事〕

内尾勝稔
〔常務理事〕

理事

今田祐治

川原与文

山田建一

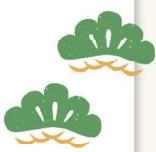
横井英樹
湯浅涉
〔表中欠札〕

令和4年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
会長

小野寺俊幸



その対応を図つてまいります。

昨年は第30回のJA北海道大会を開催し、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」という将来ビジョンが決議されました。

コロナ禍やデジタル化への対応、SDGsへの貢献、信用・共済事業をはじめとしたJA経営を取り巻く事業環境への対応など、北海道農業、JAグループ北海道を取り巻く環境が急激に変化しており、このような環境に適応していくには、改めて、協同組合運動の原点である「対話」を通じて、実践方策を設定し、実践と改善をくり返すことで、変化の波をJA運営に取り込んでいくことが必要であり、組合員・役職員が一丸となつてしまつかりと取り組んでいくことが重要となります。

結びになりますが、本年は壬寅年です。十干の「壬」は陽気を下に宿すという意味を持つており、生命の誕生を宿す意味を表しています。一方、十二支の「寅」にも壬と同様で、草花が伸びようとする状態を表しています。この謂われにあやかり、本年が豊穣の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しても、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ順調に推移したものの、7月～8月にかけての長期間の猛暑や少雨による干ばつ、また、9月に発生した雹や大雨により、一部の地域や作物によつては、生育が大変、心配されたものの、おおむね平年作物を確保することができました。

しかしながら、一昨年から引き続き、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した1年であります。農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛、外食の需要減少等の影響により、各作物の消費に大きな影響が出ています。

今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生の入国も影響があり、農作業の人材確保も大きな課題となつておりますので、北海道、全国連と連携し、JAグループ北海道としてしっかりと

武田吉正
田村俊一
天水さとし

芳賀修一
高田勝
坂爪洋介

原田万季子
行天英宏
三条志津子

〔喪中欠礼〕

高田勝

坂爪洋介
行天英宏
三条志津子

〔喪中欠礼〕

監事

代表監事

糸谷公嗣

〔喪中欠礼〕

森 坂
森 健二
森 喜代巳
監事
常勤監事
代表監事
糸谷公嗣
〔喪中欠礼〕

外職員一同

外職員一同

監事
常勤監事
代表監事
糸谷公嗣
〔喪中欠礼〕

外職員一同

〔喪中欠礼〕



"ぐる~っと" ようてい

【 ようてい産「冬メロン」ホクレン くるるの杜直売所にて販売されました!】



12月8・9日の2日間、JAようていメロン生産組合蘭越支部は、出荷先のホクレン くるるの杜 直売所にて生産者が実際に出向き、対面販売を実施しました。同支部では、令和元年より「貯蔵メロン」の取組みを行っており、3年目を迎きました。

10月に収穫したメロンを「Xtend（鮮度保持フィルム）」で包装し、冷蔵庫(1°C)で保存することで「メロンの呼吸を減らし追熟を遅らせ」、高品質な状態で約2か月間、保存管理することができました。



対面販売の様子

メロンは11月19日より約1か月間販売され、お客様からは、「この時期にメロンは珍しいですね。」「甘くて美味しかったです。」などと嬉しいお言葉を沢山いただき、ようてい産「冬メロン」をPRして参りました。

【担当:森井】



甘くて美味しいようてい産「冬メロン」です!

【 JAようてい大根生産組合 品種試験報告会が行われました!】



12月3日、JAようてい大根生産組合（組合長：田端成治さん）は、当JA本所にて大根種苗会社担当者の品種試験報告会を開催しました。

本年度は大根生産組合役員・試験者をはじめ関係機関含め計26名が参加しました。

毎年継続して実施している大根品種試験は7名（真狩2名、留寿都5名）の試験者が、気候に適した品種を選抜するため5月上旬から8月上旬まで10回に分け

て試験品種を播種し、品種毎に形状や規格揃い、障害発生の有無等の品質を評価します。

本年度は、継続試験品種含め15品種について試験し、そのうち春系より1品種、夏系より1品種の合計2品種が有望品種として認められ、次年度も継続して品種試験を実施することとなりました。

【担当:松田（一）】



大根品種試験報告会の様子

【JGAP団体認証の認証審査が行われました!

JAようていGAP団体認証取得グループは、10月19日から21日の3日間にわたり、JGAPの更新審査を行いました。審査は、JAの施設3か所、生産者5名が抽出され、実施されました。

昨年JGAP団体認証を取得した22名と、新たに2名を加えた24名が、本年JGAP団体認証の更新審査に挑み、適合性が認められ認証を果たしました。

適切な農場管理を実践し信頼性の高い農業生産者や団体であることをアピールし、有利販売・販路拡大に向けてさらに尽力して参ります。

【担当: 加藤(拓)】



認証審査を経て認証書が発行されました!

【「米-1グランプリinらんこし」決勝大会が行われました!

11月21日、蘭越町にて、日本一美味しいお米を決める「第10回 米-1グランプリinらんこし」の決勝大会が行われました。

開催地蘭越町から三上智祥さんがななつぼしを出品され、準グランプリに輝きました。三上さんは「これまで金賞までしか取れていなかったのでとても嬉しいです。今後はさらに上を目指して、もっと美味しいお米を作りていきたいです。」と受賞の喜びを話されました。

本大会の第1回から実行委員長を務める向山博さんは「どのお米もおかずがいらないくらい美味しい



蘭越町 三上さんが準グランプリに輝きました!

かったです。大会を通じて生産者の競争意識が高まり、生産技術が向上しているように感じました。全国の消費者の評価が上がれば安定した米作りを守っていくことができると思うので、本大会の知名度を上げ生産者の力になれる大会にしていきたいです。」と感想を述べられました。

今大会では道内外から295品の出品があり、後志管内からは57品が出品され、決勝には蘭越町8品、共和町1品、赤井川村1品が選ばれました。

【担当: 高橋(洸)】



レベルの高い戦いとなりました!



"ぐる~っと" ようてい

【JAようてい青年部真狩支部 市内病院へゆり根を無償提供しました!】



11月16日、JAようてい青年部真狩支部は、医療従事者への応援を目的に札幌市内の婦人科系病院67か所へゆり根を無償で発送しました。

同支部では令和2年から「医療・福祉従事者応援プロジェクト」と題し、市内の病院や介護施設、関係機関等へ農産物を送る活動を行っており、ゆり根発送は昨年1年間で4回目の取組みとなりました。

今回、各病院へゆり根2kg箱に加え、ゆり根生産組合青年部で消費拡大のため作成されたパンフレットも同封されました。パンフレットは管内の公共機関等にも置かれておりますので、見つけた際はぜひご覧ください。

【担当:福田(達)】



地元産野菜でエールを送ります!

【JAようてい青年部留寿都支部 道内視察研修を実施しました!】



12月7・8日の2日間、JAようてい青年部留寿都支部は帯広市内の農機具メーカー等を視察しました。

視察研修には部員13名が参加し、十勝管内のノブタ農機(株)、(株)フクザワ・オーダー農機、(株)AIRSTAGE 帯広店でそれぞれ企業概要や担当者から製品の説明等を受けました。

また、新得町にある「新得そばの館レストラン玄穂」にてそば打ち体験も行い、有意義な視察研修となりました。

【担当:福田(達)】



農機具を見学しました!

【JAようてい女性部京極支部やまぶき会 顔合わせ会を実施しました!】

11月18日、JAようてい女性部京極支部やまぶき会(会長:山田京子さん)は、京極町公民館にて顔合わせ会を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやまぶき会の活動だけでなく、当JAや町の行事等も開催できず、なかなか集まることが叶わない状況が続いておりましたが、当日は7名が参加し、久しぶりに楽しい会話を花を咲かせました。

【担当:村上】



JAようてい女性部京極支部やまぶき会の皆さん

【2021 後志地区「ゆめぴりか」コンテストが開催されました!】

11月10日、ホテル第一会館にて、「2021後志地区『ゆめぴりか』コンテスト」が開催され、後志地区4JA6地区が出品しました。各地区・各産地が技術を競いながら更なる結束を強め、「ゆめぴりか」の美味しさを追求するコンテストで、ゆめぴりかの安定生産や最高級ブランド育成に向け、2015年より開催されています。

後志地区3年産米の食味評価における1位である最優秀地区としてJAようてい倶知安地区、地区金賞米としてJAようてい蘭越地区が選ばれました。JAようてい



最優秀地区に輝いたJAようてい倶知安地区的皆さん



水稻生産組合 倶知安支部長の石田祥二さんは、「美味しいお米ができる時もありましたが、量より質となるように低たんぱくで美味しいお米を目指してきた結果が今回のように出たことが嬉しいです。」と受賞の喜びを話してくださいました。

同コンテストの全道大会は11月22日に開催され、JAようてい蘭越地区は後志地区の代表として参加しました。

【担当:篠原】



受賞の様子

【道南・後志・日胆・石狩地区合同JA理事研修会が開催されました!】

11月25日、4地区（道南・後志・日胆・石狩）合同JA理事研修会が開催されました。今年も新型コロナウイルス感染症対策として、会場の花びしホテルとWEB参加の形を取り、4地区のJA関係者320名が参加し、当JAからもWEBにて役職員25名が出席しました。

はじめに、JA今金町 営農部長 佐藤貴弘氏より「今金男しゃくGI制度登録等による農業所得の増大について」をテーマに、今金男しゃくの歴史を振り返り、現在のブランド化に至るまでの事例発表がありました。



WEBでの参加となりました（本所）



続いて、(株)湖池屋 代表取締役社長 佐藤章氏より「変化する社会・人の課題を解決する湖池屋ブランド作りと人材育成」をテーマに講演があり、(株)湖池屋の取組みやマーケティングで大切なこと、組織としての成長に向けた人材育成の重要性等について説明がありました。

今回の研修内容を今後の農協運営に役立てて参ります。

【担当:篠原】



"ぐる~っと" ようてい

【一日ホクレン会が開催されました!】

11月22日、当JA本所にて、ホクレン倶知安支所主催の「一日ホクレン会」が開催されました。一日ホクレン会は、ホクレンと当JAの役職員が意見交換し、JAからの意見・要望をホクレンの事業運営に反映することを目的に開催されています。

当日は、ホクレン各課の担当者より事業の概要説明の他、「RTKとGISシステム連動に向けた今後の展望について」と題し、スマート農業や今後の目標が話され、活発な意見交換が行われました。

【担当:篠原】



一日ホクレン会の様子

【役員コンプライアンス研修が実施されました!】

11月22日、当JA本所にて、役員コンプライアンス研修が実施され、役職員32名が参加しました。今年も昨年同様に、新型コロナウイルス感染症対策としてリモート開催となりました。

研修ではJA北海道中央会札幌支所 長谷川祥司次長より、令和2年度の不祥事発生事例について

説明がありました。不祥事が発生するさまざまな原因を踏まえ、未然防止策の実施や一人ひとりの意識等、今後、内部で対策できることについて考える貴重な機会となりました。

【担当:篠原】



研修の様子



【労務管理研修・段取り研修が実施されました!】



11月26日、課長職向けの労務管理研修と係長職向けの段取り研修がそれぞれリモートで実施され、当JAの職員47名が参加しました。

当該研修は外部講師を招いて開催し、労務管理に関する座学や出席者によるグループワーク等をメインに実施しました。労務管理研修では、労務管理の基本から労働基準法・労働安全衛生法の確認、メンタルヘルス対策のためラインケアや残業代削減に向けたグループワーク等を実施し、段取り研修では、管理

職に求められる要素や、部下への指導・教育、業務改善に向けた学習を実施しました。自らを含め、多くの職員が働く職場において守られるべき法律等に関し再学習し、また、働きやすい環境づくりに向けた取組みに関して再認識する研修となりました。

今後も各種研修会を通じて、職員全体の知識習得、スキルアップを行って参ります。

【担当:伊藤(哲)】



労務管理研修の様子



段取り研修の様子

【職員コンプライアンス研修が実施されました!】



12月2日、当JA本支所にて、職員コンプライアンス研修がリモートで実施され、当JA職員、(株)Aコープとうい社員 計173名が参加しました。

研修では、JA北海道中央会札幌支所の職員を講師に招き、日常業務で発生しやすい不祥事例を挙げ、なぜコンプライアンス違反となるのか、どのような罪に分類されるのか等、不祥事についての理解を深めました。また、事前に実施した職員対象のコンプライアンス

チェック結果を踏まえ、当JA全体の意識について評価していただきました。多くの職員が働く職場では、常に互いを思いやり、自分の身なりを整え、風通しの良い職場環境づくりを心がける大切さを再確認しました。

J Aグループ北海道が展開する「不祥事ゼロ運動」に当JAも貢献できるよう、今後も研修会を通じた知識の習得や活力ある職場づくりを実践して参ります。

【担当:篠原】



研修の様子

ほっと一息！掲示板

今回のテーマ
『お正月』

だて巻きが一番好きです。年中販売してもらえると嬉しいです。

(ヤッピーさん)

暑い夏。よくぞ、生きていた作物。人間たち。来年はどんな年になる？「来年もガンバルゾ！！」

(くうたんさん)

子供の餅つき会が楽しみ！ (ともっくさん)

来年こそは、普通の年になって欲しい！

(マイカーはCX-5！さん)

残念ながら、今年もおうち時間をたのします！おうちの中を片付けるべし！ふだんは仕事でなかなか不用品を片付けられません。せっかくのお正月休みを有意義に使わなくては…と計画しております。

(雪ん子さん)

手作りのおそなえもちをかざって、新年を迎える。

わが家は3段がさねです。

(ただ今パワー充電中さん)

次回のテーマは『今年の目標』

新しい1年が始まって約1週間。忙しく賑やかな年末年始が過ぎて、少し落ち着いた頃でしょうか？今年の目標を考えてみる良い時期かもしれません。人は目標を決めると、やるべきことが明確になり、思考が前向きになるそうですよ！小さな目標でももちろん構いません。皆さんが今年1年がんばろう！やってみよう！と思うことをお聞かせください。

今日から使える！一言英会話
NO.17 「No problem.」



なるべく短い英語で伝わる日常英会話をご紹介する「一言英会話」。先月号でご紹介した「What time?」はもうマスターしましたか？今月号も気軽に使えるフレーズをLesson！

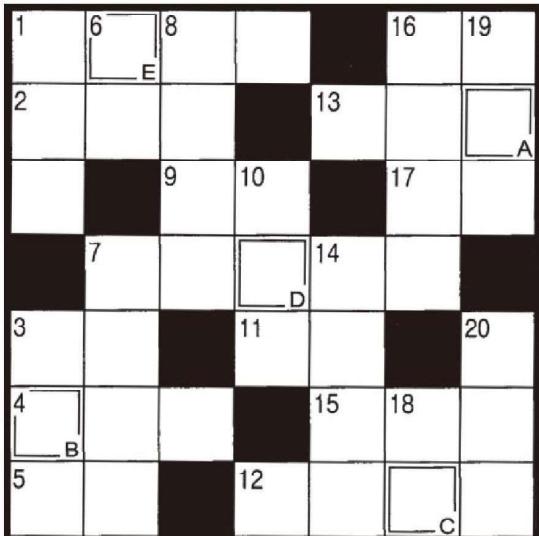
『No problem.』
ノウ プラブラン
(問題ないよ。)

「Thank you. (ありがとう。)」と言われ「どういたしまして。」と返したいとき、「You're welcome.」よりも軽い印象で伝えるときに使えるのがこのフレーズ！「Sorry.(ごめんなさい。)」と言われた時にも使えるのでおすすめです。「Thank you.」のあとには、他にも、「You're too kind. (そんなことないですよ。)」なども謙遜する気持ちを伝えるフレーズとしてGood!感謝されたときにはぜひ使ってみてください。

参考：「1回で伝わる短い英語」

パズル! 頭の体操

Puzzle
Atama no Taishou



解答は次号に掲載します!

先月号の答えは プレゼント
当選者は次号で発表致します。

【応募方法】

応募用紙にご記入の上、FAX、はがき、ホームページお問い合わせフォームからご応募ください。

はがき: ☎ 044-0011 倉知安町南1条東2丁目

J A ようつい 管理本部企画経営課 行

FAX: (0136) 21-2321

ホームページ: <https://www.ja-youtei.or.jp/>

JAようつい広報誌
パズル!頭の体操

ほっと一息!掲示板

応募用紙

FAX: (0136) 21-2321
JAようつい
管理本部企画経営課 行

締切
令和4年1月23日

- タ
テ
のカギ
- ① オイルショックともいわれる——危機
 - ③ 分度器で測ります
 - ⑥ 栗の実のトゲトゲ
 - ⑦ 春の七草の一つ。ダイコンのことです
 - ⑧ 遊園地で——コースターに乗った
 - ⑩ おでんに添える黄色い薬味
 - ⑭ 年下の女きょうだいのこと
 - ⑯ 屋外で行うことも多い教科
 - ⑰ ミカンのものは手でむけます
 - ⑲ おしゃれな——でランチを楽しんだ
 - ⑳ 「オリオン」「おおいぬ」「カシオペア」といえば

- 日
の
カ
ギ
- ① 1月の第2月曜日は——の日。国民の祝日です
 - ② 旅支度で、旅行かばんに——を詰めた
 - ③ 下手な鉄砲も——撃ちや当たる
 - ④ 北海道東部の市。自然豊かな湿原が有名です
 - ⑤ 水が混じって軟らかくなった土
 - ⑦ これが三つで三振
 - ⑨ 土を盛り上げて作ります
 - ⑪ 植物の葉や車の窓などに氷の結晶が付いたもの
 - ⑫ 「住めば都」とか「猫に小判」とか
 - ⑬ 果物——を使ってリンゴをむいた
 - ⑮ 遠回りをすること
 - ⑯ 初夢で見ると縁起が良いといわれる鳥
 - ⑰ やっぱり自分の——が一番落ち着くなあ



毎月3名の方に、2,000円分の農協全国商品券をプレゼント!(農協全国商品券は株Aコープようつい等でご利用できます。)

【記入項目】

- ① パズルの答え
- ② 〒・住所
- ③ 氏名
- ④ ペンネーム
- ⑤ JAようついとの関係
(正組合員・准組合員・その他)
- ⑥ 本号で好きな記事・ページ
- ⑦ 広報誌の感想・農協への意見
- ⑧ ほっと一息!掲示板

【締切】令和4年1月23日



QRコード

----- キリトリ線 -----

① パズルの答え

② 住所 〒 -

③ 氏名

④ ペンネーム

⑤ ようつい農協との関係 (いずれかに○を) 正組合員・准組合員・その他

⑥ 本号の好きな記事・ページ

⑦ コメント (広報誌の感想・農協への意見など)

⑧ ほっと一息!掲示板「今年の目標」